

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ① 苗木育成産業の振興については、緒についた程度（数％） ② モンゴル人植林技術者数は、初級者 56 名程度の増加（90％） ③ モンゴル国民の緑化・環境保全意識の向上は、まだまだ緒についた程度（数％）
(2) 事業内容	<p>当初計画の事業の内容は、ほぼ予定どおり実施することができました。また、苗床事業所のビニールハウス 1 棟も完成し、ポット苗の植付も予定以上に行うことができた。</p>
(3) 達成された効果	<ul style="list-style-type: none"> ① 植林技術者の人的増大効果 受講者 60 名の「基礎知識習得度の把握小テスト」の合格者は、ほぼ 90％であった。 ② 苗木育成業の振興効果 苗床の設置は 100％を超える実施ができた。この苗床事業所をモデルとして、今後民間苗床業者の創業の奨励と指導を行う基礎が確立した。 ③ 自然破壊防止効果 植林・森林保全関連の産業の振興は、これからであり引き続き北部森林における「山取り」本数の調査検証を継続して行う。
(4) 持続発展性	<ul style="list-style-type: none"> ① 今回育成した約 50 数名の初級者には、それぞれの立場で植林化・環境保全の理解者として、国民への啓蒙に携わってもらえる。 ② 今後その内から 10 名程度には高度な技術訓練を行い、植林技術者として育成し、プロとして巣立たせることとしている。 ④ このプロジェクトを、翌年度以降ウランバートル市当局に逐次移管をはかり、2018 年完了予定の本体事業である街路樹と併せ、完全移管を終える。 その後は、「街路樹の維持保全」と「植林技術訓練・苗床事業」はウランバートル市が継続して実施する予定であるが、当協会としては引き続き支援等を行っていくこととしている。